

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 50

2016年10月発行

サマーキャンプ



日時：2016年8月19日(金)～20日(土)

行程：ほうぷ ⇒ 大阪府立羽衣青少年センター(浜寺公園) ⇒ ほうぷ

参加者：障害をもつ子ども 13名、学生ボランティア 11名

助成：旭区社会福祉協議会 善意銀行「児童育成事業等助成金」

ほうぷ初の一泊イベントを開催しました。地下鉄と南海電車に乗って、羽衣青少年センターに行きました。グループに分かれて、木の粘土細工で鉛筆を作ったり、バーベキューをしたり、浜寺公園でオリエンテーリングをしたりしました。グループごとに部屋に入り、お風呂に入ったり就寝や朝の準備をしたりしました。大学生のお兄さんやお姉さん、友だちと力を合わせて活動することで、仲間づくりができ、子どもたちの主体性を育み、リーダーシップを取ったり役割を果たしたりして自信をつけることができました。猛暑でしたが、汗だくになりながら活動し、みんな元気に帰ってきました。ほうぷに帰って休憩中に寝てしまう子もいました。学生ボランティアさんたちは、2日間、試行錯誤をしながら子どもたちと活動し、振り返りでは、障害をもつ子どもたちに対する理解を深めてくれたと感じる発言が多くありました。

<ボランティアの感想から>

- ・ キャンプでユースホステルに泊まるといった事は初めてで不安な気持ちもあったし、自分にちゃんと役割を果たせるか不安でしたが、いろいろな子どもたちが手伝ってくれ、みんなが分担して仕事をして、BBQもとても楽しかったです。2日目のオリエンテーリングでは、みんな協力して道を間違えてもたどりつくことができました。
- ・ サマーキャンプに参加させて頂いて、自分自身本当に楽しむことができたし、子ども達の色々な一面を見ることができて、貴重な体験をさせて頂いたなと思いました。丸二日間過ごす中で、色々な面を見ることができました。Aちゃんは、恥ずかしがりやの印象が強かったのですが、2日間ペアで過ごす中で、自分のことを話してくれたり、私の心配をしてくれたり、Aちゃんの色々なことを知ることができました。荷物が重くて肩が痛いと言っていて、私が「持ってあげる」と言っても「大丈夫」と言っていてがんばって持って歩いて、



スーパーでお昼ごはんを買う時、500円以内に収めようとしてしっかり計算しながら買い物しているAちゃんは、本当にしっかりしていてすばらしいなと思いました。BBQも皆しっかり分担して役割を果たして時間内においしいごはんが食べられたと思いました。

- ・ Cさんとペアを組みましたが、この2日間で顔と名前を完ぺきに覚えてくれたことがまず嬉しかったです。積極的に友達へ話しかけたり皆の前へ立とうとする姿がたまに見られる反面、「皆とは嫌」と言ったり立ち止まる姿も見られました。2日間ほぼ同じ時間、経験をして、Cちゃんが私たちのことを好きであるということがわかったので、今後も良い関係を築いていけるようにしたいと思います。バーベキューでは、自主的に動く皆の力が見えて、すごいなと改めて思いました。疲れ切っていたり嫌な時でも最後までやり遂げる姿に、毎度感動しました。
- ・ 全体の感想としては皆よくがんばったなの一言に尽きます。普段ではなかなか歩くことのない距離を歩いたと思うので疲れたと思います。でも疲れの先に新しいイベントがあって、そのために皆がんばって、楽しんで、またがんばって、子どもたちにとってはとてもいい経験になったと思いました。個人的な感想としては、D君は自ら判断して行動してくれていましたが、同じ班のEくんには部屋での過ごし方や水分補給の方法を考えてあげたら良かったと思いました。
- ・ 二日間、F君とペアを組んで活動しました。初日は朝から気温がかなり高く、目的地に到着するまでかなり時間がかかったため負担も大きかったと思うが、何一つ文句を言うことなく動いてくれていたので、僕としても安心して目的地に向かうことができました。バーベキューでは火起こし係として全力で頑張っていました。二日目はきちんと朝6時に起床し、美味しそうに朝食を食べていました。レクリエーションではG君を励ましつつリーダーシップを発揮していました。公園でも元気に遊具や鬼ごっこを楽しみ、嬉しそうな顔でほうふまで帰ってくれたので僕も気持ちよく帰ることができました。



<子どもの感想から>

- ・ バーベキューをやったときに目がいたくなかったけど、たのしかった。
- ・ 1泊2日でサマーキャンプを初挑戦しました。バーベキューをして食べました。おいしかったです。その次は、花火をしました。あんまりたのしくないと思ったけど、たのしかったです。オリエンテーリングは、ちょっとむずかしいけど頑張りました。あそんで帰りました。

- ・最初に、鉛筆作りをしてあんまり上手くできなかったです。その後公園に行きおにごっこをしました。めちゃくちゃ汗だくになりました。その後にバーベキューをしてとてもおいしかったし、熱かったし、楽しかったです。夜になりあんまりねむれなかったです。次の朝バイキングを食べおいしかったです。そのあとクイズで1位になりうれしかったです。
- ・バーベキューがおいしかった。そのあとの花火はたのしかった。オリエンテーリングのクイズのもんだいがかんたんすぎて、つかれがよりましたただけだった。ほうぷでのサマーキャンプはいろいろあったけどたのしかったです。
- ・はごろもでとまりました。1日目は、ねんどざいくとバーベキューと花火をしました。バーベキューは、とちゅうで雨がふってきてたいへんでした。2日目は、オリエンテーリングをしました。つかれたけど、大学生のおねえさんとAAAのうたをうたいながらあるいたから、あつというまでした。さいごは、ゆうぐであそびました。巨大すべり台をいっぱいしました。めっちゃたのしかったです。次も行きたいです。

サマーキャンプ報告会

9月24日に報告会をしました。スライドに写真を映し出して、子どもたちが順番に、感想を発表しました。どの子も堂々と発表していて、ひと夏でたくましくなったと感じました。学生さん3人も発表してくれました。この体験が子どもたちの自信となり、自立に向けた一歩になることを願っています。



浴衣を着て出かけよう！

日時：2016年8月2日（火）15:00~18:00

行程：ほうぷ ⇄ 千林商店街

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 12名、学生ボランティア 11名

協力：旭区老人クラブ連合会女性部



ほうぷ恒例の浴衣イベントです。今回は、髪セットを自分たちでしてみました。今年も旭区老人クラブの女性の方々に浴衣の着付けをしていただきました。浴衣を持っていない子どもにも浴衣を貸してくださり、みんなで浴衣を着て、千林商店街の夜店を楽しむことができました。今回、学生ボランティアに留学生3名の参加があり、浴衣を着て夜店に行くという日本ならではの体験をすることができたと大喜びをしてくれました。いろんな人と出会うことは子どもたちにとっても勉強になると思います。

<ボランティアの感想から>

- ・Aちゃんは浴衣がとっても似合っていて、まるで別人のようでした。商店街では、フルーツ、かき氷、クレープを食べました。とても美味しそうに食べていて、見てるこちらにも幸せでした。食べ物をもらったあと、必ず「ありがとうございます」と言っていて、礼儀正しい良い子だなあと感心しました。最後、時間がきて「帰ろうか〜」と言うときに、行列ができていたやきそばが食べたいと駄々をこねていましたが、最終的に言うことを守

ってくれて、無事終了時間に帰ることができました。一緒に楽しませてもらいました。

- ・今日は初めての活動でしたが、ケガなく、子ども達が楽しそうにしていたのでよかったですと思いました。ただ、人が多く、何度かはぐれそうになったので子どもが行きやすいように誘導してあげるなどの配慮をもう少しやればよかったですと思いました。
- ・子どもさんと楽しく話しながら、祭りを一緒に楽しむことができたのでとても楽しかったです。また、良い思い出になりました。子どもさんとよく話をしながら次にどこに行きたいか、何をしたいかといったことを聞くことができたと思います。あとは道をしっかり覚えて子どもさんと安全に移動できるようにしたいと思いました。
- ・はじめてのゆかた体験ですごくよかったですと思います。みんなの楽しそうな笑顔で自分も幸せになりそうな気分でした。ほうぷでさまざまなこと（日本のもの）をやってみる機会を得ることができてありがたいと思っています。普通、学校で学べないことを体験し学べるのでいい経験だと思います。
- ・初めて、日本の子どもとふれあい、みんなかわいかったです。少しの達成感で大喜びして、自分のことを見てみるとそのような純粹な喜びは久々でした。残念なことは時間が短かったので、みんなの名前を全部覚えることができませんでした。今度またチャンスがあれば、遊びに来ます。みんな良い夏を！



放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

夏休みは、子どもたちが主体的に活動できるよう、日直を3名にして、日直が一日のスケジュールを決めたりリーダーシップを取ったりしました。ただ、近年、夏休みが始まって、プール開放や補習授業があり、7月は学校に行ってから参加する子どもが多く、また、2学期の開始日も学校によって様々で、8月4週あたりからは登校後に来る子どもたちも多くいました。夏休みはじっくり活動したいと思っていたのですが、朝から一日活動に取り組める状態の子どもが少なく、計画通りにはいきませんでした。猛暑が続き、外で遊ぶのが危険に感じるほどでした。それでも、子どもたちは、朝夕に虫取りに出かけました。昼間の暑い時間帯は、創作活動をしたりボールプールをしたりしました。

宿題はみんなよく頑張って取り組みました。自由研究は「はてなのじかん」でやったことをまとめる子どもたちもいました。宿題が終わっても、「10分プリント」がしたいと言って、プリントを要求する子どももいました。毎日10分集中して机に向かい、自分の好きなプリントに取り組むことを繰り返す中で、できることが嬉しかったり、自信につながったりしているようです。

クッキングは毎日のようにしましたが、猛暑のため、子どもたちのリクエストが、そうめんや冷麺が多くなりました。子どもたちでメニューを決めて、購入する食材を書き出して、日直3人がスタッフと買いに行きました。少人数で、より助け合うことができました。

中学生たちは新人スタッフより包丁の扱いが上手です。これも積み重ねの成果です。

8月23日、ちょっとおしゃれをして出かけようと「梅田に行くおしゃれ」をして、地下鉄に乗って出かけました。大阪駅前の「風の広場」まで行きました。それぞれが好きなジュースを買って、思い思いベンチに座ってワッフルを食べました。ちょっとしたお出かけでしたが、いつもと違った体験にみんなワクワクうれしそうでした。

9月4日に旭区一斉防災訓練がありました。ほうぷはお休みの日でしたので、スタッフ全員と子ども2名がボランティアで参加しました。ほうぷから避難場所の清水小学校に避難しました。地域の方々にほうぷを知っていただき、スタッフも避難場所の状況把握ができました。今後、ほうぷの中で避難訓練や救急講習などを定期的に行っていきたいと思えます。



カフェほうぷ開店



日時：2016年9月24日（土）14：30～15：30

場所：楽童ほうぷ

春のフードコートに続き、カフェほうぷを開店しました。子どもたちは、夏休みにクッキー作りを練習し、カフェほうぷ開店前には、飲み物セットにそえるクッキーと持ち帰り用のクッキーを作りました。「いらっしゃいませ」「注文は何になさいますか？」など、練習をしましたが、スタッフが言わなくても「しばらくお待ちください」「お待たせしました」「ごゆっくりどうぞ」と言う子どももいて、レストランなどでよく観察しているんだなあと感じました。大学生ボランティアと一緒に、お客さんをオモテナシしました。今回は、地域の行事と重なったり、宣伝がよくなかったりで、お客さんが10名ほどで、子どもたちは少しがっかりしていました。次回は宣伝します。皆さまのおいでをお待ちしています。

<子どもの感想から>

- ・今日は、カフェほうぷで、おきゃくさんがあんまりこなかったけどとてもたのしくていいけいけんになりました。とてもたのしかったのでまたカフェほうぷをしたいです。
- ・今日はカフェほうぷで、れじでおかねのけいさんをしました。たのしかったです。
- ・今日、カフェをしました。あんまりお客さんが来ませんでした。だからぜんぜんクッキーが売れませんでした。けどまあ楽しかったです。
- ・今日は、カフェほうぷでした。いがいとたくさんの方がきてくれてちゅうもんがさいしょだけおよかったのでたいへんでした。



● イベント情報 ●

旭区ふれあいひろば

日時：10月29日（土）11時～15時

会場：旭区民センター 大ホール 小ホール

ほうぶも出店します。子どもたちが作った七宝焼などを子どもたちが販売します。
お時間のある方、ぜひ、ご来場いただき、子どもたちの作品を見てください。

元気になろう！こころもからだも！

～ 障害をもつ子どもの保護者向けセミナー ～

日時：11月12日（土）10時30分～12時30分

会場：地域生活サポートネットほうぶ 定員：10名

平成28年度大阪市男女共同参画「地域出前セミナー」事業

セミナー参加費：無料 茶話会費：200円 要申込み(先着順)

こころやからだの元気を維持する方法を学び、リラクセスの方法やポジティブな思考方法についても体験ができ、元気になることができるセミナーです。
セミナー後、当法人スタッフを交えてのおしゃべりタイムもあります。



ドキュメンタリー映画「リース遠征隊 ～ガルフピッケンの夢～」 上映会&トークセッション！

日時：11月16日（水） 会場：東成区民センター 小ホール

問合せ：ヘルプセンター・すきっぷ(菅田) TEL 06-6754-3011

デンマークのエグモントホイスコーレ卒業生である車椅子ユーザーの難病の青年が、仲間と共に、北ヨーロッパの最高峰ガルフピッケンに登頂したドキュメンタリー。

夢・挑戦・障害・仲間
共に学び生活をするエグ
モントからの発信

先日、篠田桃紅展に行きました。書や絵画の素晴らしさは言うまでもありませんが、言葉にも重みがありました。「一本の線」から伝わってきた人生の重み。強い女性の潔いキリリとした空気を感じました。「逃げ隠れも一切できない どこにも、誰にも、責任をなすりつけることができない」一本の線。「あなたの人生も、一本の線」。心にずっしりとききました。

厳しい残暑が続いた後に、急に秋がやってきました。気温の変化が大きいので、風邪などひかれませぬよう、みなさま気をつけてください。



ボランティア募集♪
さをり織を
教えてくださる方
募集中！